



私の面接対策

Interview Strategies For Japanese Companies

氏名 : M.A.F
内定先 : 商社・メーカー
所属 : 秋田大学 国際資源学部 資源政策コース



目次

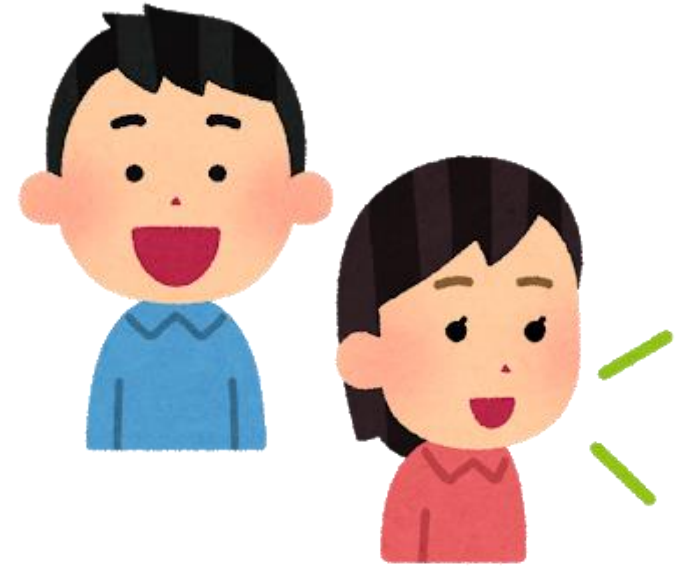
- ① 日本語力をあげる
- ② 日本ではたらきたい理由
- ③ 会社の分析
- ④ 自分の分析
- ⑤ 面接で気をつけること
- ⑥ 日本に留学した理由
- ⑦ 日本で就職しようと考えた理由
- ⑧ どのような準備をしたか
- ⑨ 日本での就職活動で苦労したこと、工夫したこと
- ⑩ これから日本で就職活動をする留学生へのアドバイス

①日本語力をあげる

日本語力があれば、合格しやすくなります。

準備に時間がある人

- ・日本語のリスニングをたくさんする(news, dramas etc)
- ・聞いた日本語をまねして、話す練習をする



準備にあまり時間がないひと

- ・自己紹介や、面接でよくある質問とその答えを日本語に翻訳して、何度も練習する
- ・分からないことがある時は、すぐに先生/友達に聞いたり、調べる。そして、正しい日本語を覚える。

②日本ではたらきたい理由

日本の会社は「なぜ、あなたは日本ではたらきたいですか?」という質問の答えを大事にしています。

「住みたい理由」ではなく、「はたらきたい理由」

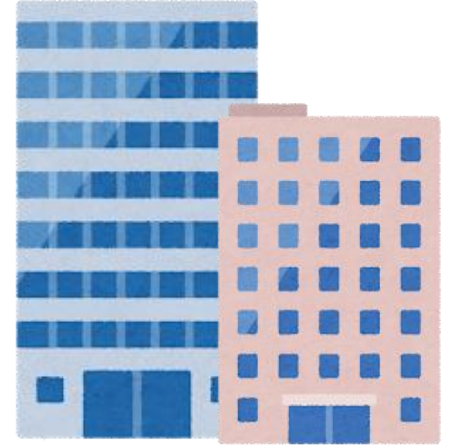
- ・「日本を旅行したい、住みたい」と思われるような答えはNG
- ・日本で**はたらきたい理由**を**3つ準備**する

日本の文化・考え方等をあまり知らない人

- ・大学の勉強が日本で生かせること、日本で発達している技術にかかわりたいことを言えばOK
- ・日本人、日本の技術にふれた経験などを、思いだして考えるとGood

③会社の分析

面接する会社、その業界についての理解は
『うちの会社に入りたい気持ちの強さ』
だと会社の人 생각합니다。



- ①何をしている会社ですか？
- ②その会社のメインの商品やサービスは何ですか？
- ③その会社の最近のニュースは何ですか？
- ④Competitorとくらべると、その会社の特徴は何ですか？

調べて、①～④の答えをそれぞれ3つ準備してください。



✖ HPやJob Descriptionを見るだけで、会社の研究がおわる

◎ ニュースの記事やリクルートサイトもよんで、会社について深く理解する。

◎ それらについて自分の考えを言えるようにする。

◎ 自分のこれまでの経験や関心があることを、どうやって仕事で結びつける(生かす)ことができるのかを考える。

✖ どの会社に対しても言えそうな答えを言う

◎ その会社には当てはまらないことを言う

④自分の分析

日本の会社と面接する時に、以下のことをよく聞かれます。

「自己紹介をしてください」

「あなたの長所と短所は何ですか？」

「あなたの趣味は何ですか？」

「うちの会社でどんなことをしてみたいですか？」

「5年後のキャリアプランを教えてください」etc…

これらは「あなたがどういう価値観を持っているか」や、「どんな仕事に向いているか」、「会社との雰囲気があるかどうか」を企業の人を知るための質問です。

このような質問に答えるためには、

自己分析(＝自分をよく知ること)が必要です。

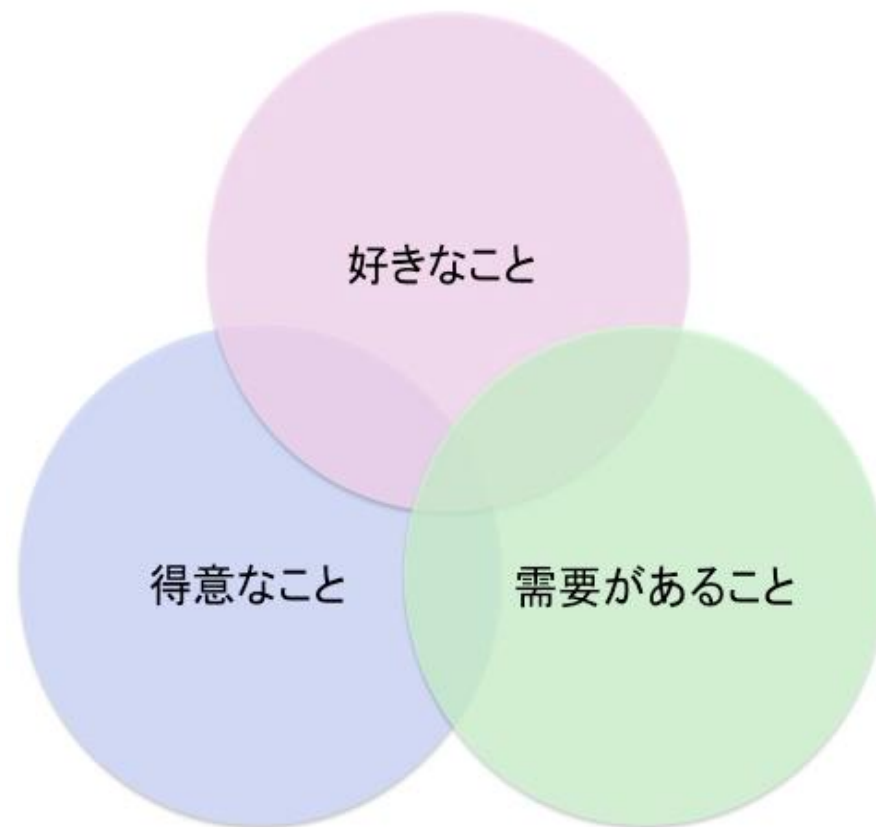
自己分析の方法

①下のような図を描く

それぞれの円には、自分が「好きなこと」「得意なこと」「必要があること」と記していきましょう。

②それぞれの図に当てはまる「自分の特性」を書く

- ・「得意なこと」: PPTが得意で、発表で担当したことがある人は「pptを作ること」と書きましょう
- ・「好きなこと」: 本を読むのが好きな人は「本を読むこと」と書きましょう
- ・「必要があること」: 誰かに何度かお願いされたことです。『ここにイラストを描いてほしい』『勉強を教えてほしい』など



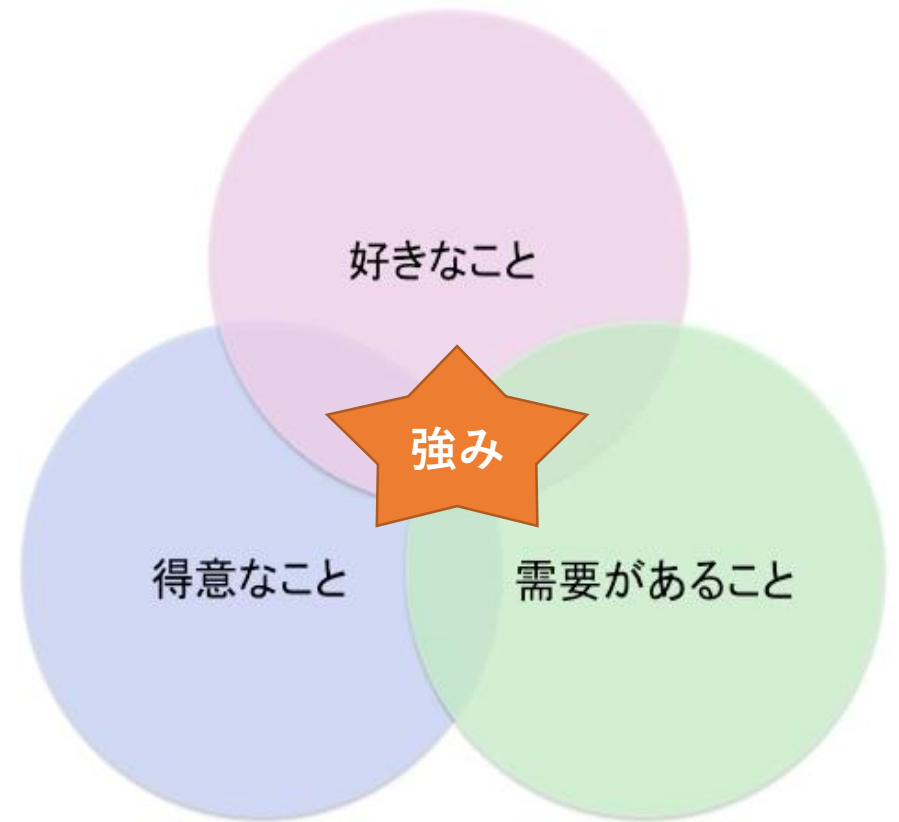
自己分析の方法

③3つの円が重なる特徴をピックアップ

円が3つとも重なり合う部分に書いた特徴をピックアップしましょう。それが「**自分の強み**」です。

あなたはどんな人で、どんな強みがあるのか、なぜそう言えるのかを説明できるようにしましょう。

*ここで大切なことは、自分の強みが、過去の経験やエピソードを根拠にしていることです



自己分析はとても大事です。しっかり時間をかけてください

⑤面接で気をつけること

結果だけをアピールしない

「大学で頑張ったことは？」

「大変だったことは？」

「チームで何かをした経験は？」

などの質問には、**自分がどのように考え、どのように取り組んだのか、学んだこと、結果が出るまでの過程**などです。

なぜそう思いますか？を繰り返す

1つの返答に対して、「なぜそう思いますか？」を3回繰り返されても答えられるようにする

しぐさと身だしなみ

以下の点を気にするだけで、企業の人に良い印象を与えることができます。

- ・笑顔で話す
 - ・アクセサリーは、とくべつな理由がない限り外す
 - ・髪が長い人は結ぶ。顔の輪郭が見えるほうがいい
 - ・貧乏ゆすりをしない。落ち着きがなく見える
 - ・口癖を減らす
- 「なんか」「まあ」「えっと」「あの」etc...

練習の時に録音し、口癖を見つけたら、減らすように練習する



付録①

面接でよくある質問

- ・自己紹介をしてください
- ・あなたの長所は何ですか？
- ・あなたの短所は何ですか？
- ・特技は何ですか？
- ・入社したら、何をやりたいですか、それはなぜですか？
- ・5年後のキャリアの目標は何ですか？
- ・なぜ日本語を勉強しましたか？
- ・なぜ日本で働きたいと思いましたか？
- ・なぜこの業界に興味を持ちましたか？
- ・なぜうちの会社で働きたいと思いましたか？
- ・何か私たちに聞きたいことはありますか？



⑥日本に留学した理由

- 子供のころ、父親が出張で日本に行ってきた話をよく耳にして日本の世界が面白いと思ったから、自分もいつか日本に行けるようになりたいと思ったからです。
- マレーシアの若者が欧米の国々ではなく、日本などの東の国々を目指した方がいいという、元総理大臣マハディールが作った東方政策から影響を受けたからです。

⑦日本で就職しようと考えた理由

- コロナの影響
 - 元々、卒業してから、自国に帰って向こうで就職するつもりでしたが、コロナの影響で、たくさんの人たちが仕事を失ったし、景気が悪くなったから、マレーシア人の私でもマレーシアで就職しようとしたら、内定を手に入れる確率が低いので、日本で就職したほうが一番だと思ったからです。
- 経験を集める
 - 日本の仕事文化は世界のどの国とも違って、特殊であるので、日本で働きながら、大学で学べない知識、理解を深めて、マレーシアに帰ってから、それらを使って国に貢献したいと思います。
- 日本語力を活かす

⑧どのような準備をしたか

- 自己PRを考える
 - 適性検査を受ける
 - 友達に自分のことを周りにどう思われているかを教えてもらう
- 業界、業種、職種、業態の研究
 - どんな業界で、どんな仕事をしたいかを考える
 - 興味がある会社の評価、働く環境、社員たちの年収、教育制度、残業時間等を調べる
- ES「エントリーシート」の書き方
 - いい会社から内定を手に入れた人たちのESを調べる
 - 日本人の友達に日本語のミスをチェックしてもらう

⑨ 苦労したこと、工夫したこと

- 苦労したこと
 - グループ面接
 - ほかの大学の日本人の人たちと面接された経験がある。
 - 自分だけが外国人なので、日本語力が足りないから勝てないと思って緊張してしまう
- 工夫したこと
 - 「自分が外国人でありながら。。。 」というポイントをできるだけ強調する
 - 例 : ゼミの中で私だけが外国人であるから、コミュニケーションを取るのが最初の段階で難しかったが、頑張った成果として、目標を達成することができました。
 - 自分の個性と、他の人たちがあまり経験されていないことについての話を準備する

⑩ これから日本で就職活動をする留学生 へのアドバイス

緊張しないこと！

準備はパーフェクトであれば、絶対できる！

日本人の学生達も学生たちなので、自分はできないとの考え方を
捨てること！

諦めが悪いものが勝つ！！！！

付録②

役に立つウェブサイト

マイナビ

<https://job.mynavi.jp/2021/>

リクナビ

<https://job.rikunabi.com/2021/>